日本語日本文学科　カリキュラムツリー

DP.1
日本の言語文化についての深い理解を持ち、次の世代に継承できる。

DP.2
日本の言語文化への学びを通して、論理的で柔軟な思考力を獲得し、明確に表現することができる。

DP.3
すべての社会活動の基盤となるすぐれた日本語運用能力を身につけ、それを社会生活において活用し、貢献することができる。

DP.4
日本の言語文化を学ぶ過程での練磨を通じて、自らの課題を見出し、適切な目標を掲げ、遂行することができる。

DP.5
多様な文化背景を理解し、様々な人々と協働して行動することができる。

DP.6
日本語に関する専門的な知識を持ち、実社会において的確かつ明快な言語運用ができる。

DP.7
日本語教育に関する知識と技能を持ち、実践現場への応用ができる。

DP.8
日本文学の学びを通して得た知識、人間洞察力を活かして、社会活動に貢献できる。

4年次

卒業論文

演習Ⅲ

3年次

演習Ⅱ

中国文学Ⅱ（中国A・B）
日本文学Ⅱ（古典A）
日本文学Ⅱ（古典C1・2）
日本文学Ⅱ（古典B1・2）
日本文学Ⅱ（古典D1・2）
日本文学Ⅱ（近代A・B・C）
日本文学Ⅱ（児童A・B）
日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）
日本語学Ⅱ（調査研究）
日本語学Ⅱ（文法・実例研究）
日本語教育Ⅱ（日本語教育特論(2)教育）
日本語教育Ⅱ（日本語教育特論(1)言語）
日本語教育Ⅱ（日本語指導実践(1)(2)(3)）
書道実習Ⅴ
書道実習Ⅳ
書道実習Ⅲ
国語科教育法A

演習Ⅰ

日本語学Ⅱ（世界の中の日本語）
日本語教育Ⅱ（日本社会と日本語教育）
日本語教育Ⅱ（多文化教育・バイリンガリズム）
日本語教育Ⅱ（コースデザインと評価）
日本語教育Ⅱ（作文・読解とその指導）
日本語教育Ⅱ（聴解・会話とその指導）
日本語教育Ⅱ（音声と音声指導）
日本語教育Ⅱ（文法と文法指導）
日本語教育Ⅱ（対照言語(日英)）

有職故実
歌ことば歌ごころ
古典と昔語り
世界の中の日本文学A
日本の演劇
書誌学
世界の中の日本文学B
日本民俗学
日本思想史
サブカルチャー論A・B
現代文化論（ポップカルチャー）
メディア論

2年次

日本文学史A
日本文学史B
日本文学史C
日本文学史D
文字から入る古典

1年次

言語学
古典文法
現代語文法
IT日本語学
日本語教育入門
異文化間コミュニケーション

日本文学Ⅰ（古典B）
日本文学Ⅰ（近代C）
日本語学Ⅰ（ことばと社会）
日本語学Ⅰ（日本語学研究とコンピュータ）
日本語学Ⅰ（音声と音韻）
日本語学Ⅰ（パソコン日本語学入門）
日本語学Ⅰ（文学作品の語法）
日本語教育Ⅰ（第二言語習得）
日本語教育Ⅰ（外国語教授法）

中国文学入門

史料解読
比較文化
Examining Japanese Culture, Old and New

日本語教育Ⅰ（社会言語学）
日本語教育Ⅰ（会話データの分析）
日本語教育Ⅰ（日本語文法論）
日本語教育Ⅰ（日本語教育教材）
日本語教育Ⅰ（文字と文字指導）

中国文学Ⅰ
日本文学Ⅰ（古典A1・2）
日本文学Ⅰ（古典C1・2）
日本文学Ⅰ（古典D1・2）
日本文学Ⅰ（近代A・B）
日本文学Ⅰ（児童A・B）

日本の書芸
書道史
書道科
国語科

書道実習Ⅱ
書道実習Ⅰ

国語科教育法B（国語教材研究）

コースプロジェクトA・B

ボストン15週プログラム

創作Aエッセイ・シナリオ
創作B（俳句・短歌）
実践的文章論（編集の基礎）
実践的文章論（入門編）

文章トレーニング各論（ビジネス文章）
スピーチトレーニング各論（朗読）
スピーチトレーニング各論（プレゼンテーション）
スピーチコミュニケーション基礎
硬筆書道
ICT機器の操作
コンピュータ基礎A・B

古典文学
近現代文学
日本語学
日本語教育
教員免許
実践科目
キャリア支援

基礎演習
日本語学入門A・B
日本文学入門A・B

コース共通科目

※赤字は必修科目

歴史文化学科カリキュラムツリー

〔知識・技能〕

DP.1
人文学の幅広い教養と、歴史・文化の専門知識・技能を体系的に身に付け、課題に対する情報を適切に収集し、批判的思考力と創造的思考力をもって実証的・論理的に解析を行うことができる。

DP.2
国内外の歴史・文化について広い視野からの調査研究を行い、国際社会への理解を深め、自らの知見や提案を発信する能力を活かし実社会に貢献できる。

〔自主・自律〕

DP.3
有形・無形の歴史的・文化的所産を史資料として学ぶ中から、自ら課題を見出し、その解析方法を思考し、具体的な目標を設定することができる。

DP.4
自らが定めた目標や直面する様々な課題解決を目指し、情報収集に努め、多角的・理論的な思考と分析に継続して取り組むことができる。

〔協調・調和〕

DP.5
自己の能力と特性を理解し、国際社会の一員としての自覚と、他者の価値観を尊重できる思慮深さをもって、社会規範やルールに依拠して行動できる。

DP.6
異なる歴史・文化を背景とする人々との相互理解を深めるため、協働して文化財の調査研究・公開・活用の促進を図り、国際協調の推進と教育普及に寄与できる。

4年次 / 3年次 / 2年次 / 1年次

一般教養科目 / 外国語科目 / 文化講座

卒業論文

歴史文化演習

演習

日本史演習A
日本史演習B
西洋史演習
地域文化演習
東洋史演習

日本美術史演習
西洋美術史演習
民俗・芸能演習
服飾文化史演習

日本考古学演習
アジア考古学演習
文化財保存学演習

日本近世史特論
有職故実

日本芸能史特論
演劇文化論
伝統文化の現場
英語による日本文化史

古代オリエント文化史
英語による西洋史
キリスト教文化史
世界史通論
ジェンダー論

東洋史特論
東南アジア史Ⅱ

西洋美術史特論
—スペイン美術—

アジア考古学特論

古文書解読
日本古代史特論
日本近現代史特論
日本思想史

日本美術史特論
近代と地域文化
禅と日本文化
サブカルチャー論A

民俗学特論
仏教文化史
茶道文化史
宗教学概論

歴史文化特論−寺社縁起の世界−

環境考古学
日本考古学特論B
—最新の遺跡—

文化財保存修復論
文化財保護行政論

西洋史特論
地誌通論B—世界地誌—
比較女性史論

地理学特論—地理学の諸問題—
地誌通論A—日本地誌—

ヨーロッパ建築史
西洋文化史
美術館論
—地域と美術館—

日本服飾史
染織工芸論

東南アジア史Ⅰ

東洋美術史概論
アジア仏教史

アジア考古学
アジア考古学特論

日本古代史
日本中世史
日本近世史
日本近現代史
日本女性史

日本建築史（飛鳥から江戸）
日本建築史（幕末・明治以後）
日本芸能史
伝統芸能実習

考古学実習A
考古学実習B
考古学実習C
日本考古学特論A
—最新の分析法—

紙文化財の保存修復

アメリカ史概論

東洋史概説
東シナ海文化交流史

西洋服飾史

自然地理学概論

文化論
地域文化概論

基礎・調査法 【DP1】【DP2】【DP3】 1〜2年次	原典講読 西洋美術史基礎	日本近現代史料解読 日本芸能史基礎	史料解読 民俗調査法	近代女性史文献講読 服飾史資料基礎	地域調査法−フィールドサーヴェイ入門− 考古学基礎	日本美術史基礎 文化財保存学基礎
概 論 【DP1】【DP3】 1〜2年次	日本史通論 民俗学概論	日本美術史概論 文化人類学概論	西洋史概論 人文地理学概論	西洋美術史概論 考古学概論	日本生活文化史概論	
必 修 【DP1】【DP3】 1〜2年次	歴史学概論	文化史概論	考古・文化財論			
必 修 【DP1】【DP3】 1〜2年次	歴史文化基礎					

歴史・地理 / **美術・民族の文化** / **考古・文化財**

博物館学	社会・地理歴史教育	就職支援	海外研修	英語
博物館実習Ⅲ 館務実習	教育実習			
博物館情報・メディア論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ	社会科教育法A 地理歴史科教育法	歴史文化と社会	アジア文化遺産演習 アメリカ歴史文化演習	
博物館経営論 博物館展示論 生涯学習概論 博物館資料保存論	社会学概論 法学概論（国際法を含む） 現代政治と政治学 倫理学概論 社会科教育法（教材研究） 社会科教育法B	実践的文章論（編集の基礎） 文書情報管理論		西洋文化専門英語 英語による日本文化史
博物館概論 博物館資料論 博物館教育論	経済学概論	実践的文章論（入門編） スピーチコミュニケーション基礎 コンピュータ基礎A コンピュータ基礎B	ボストン・ミュージアム入門 比較文化 ヨーロッパ歴史演習A ヨーロッパ歴史演習B	

英語コミュニケーション学科 カリキュラム ツリー

DP.1 A B C
英語の基本的なリテラシーに基づき、コンテクストに応じた適切かつ有効な英語表現ができる。

DP.2 A B C E
多様化、グローバル化が進む社会に自ら挑戦する意欲や能力を有している。

DP.3 A B
企業、組織、地域などの様々な社会的集団の中で、英語によるコミュニケーション力を用いて主体的な役割を果たすことができる。

DP.4 C D E
他者や社会に貢献する意思を持ち、的確に行動するための知識を有している。

DP.5 A B C D E
グローバルな視野に立った教養と専門知識を持ち、課題解決のために多角的・論理的に考え、自らの意見を発信することができる。

DP.6 A B D
グローバル社会において多様な背景や価値観を持つ人々と、英語によるコミュニケーション力を用いて協調・協働することができる。

卒　業　論　文　・　卒　業　制　作

4年次

3年次

2年次

1年次

Ⓐスキル科目

Culture Today Ⅱ　Society Today Ⅱ
Academic Reading and Writing B

Culture Today Ⅰ　Society Today Ⅰ
Academic Reading and Writing A

海外留学プログラム昭和ボストン（必修）

Speaking and Reading (F)　Reading (F)　Grammar and Writing (F)

Topics in English (America)
Topics in English (Japan)
Reading America and Japan
Writing America and Japan
Grammar in Context Ⅲ

Speaking and Listening ⅡA
Speaking and Listening ⅡB
Reading Ⅱ
Writing Ⅱ
Grammar in Context Ⅱ
Computer Skills Ⅱ

Speaking and Listening ⅠA
Speaking and Listening ⅠA
Reading Ⅰ
Writing Ⅰ
Grammar in Context Ⅰ
Computer Skills Ⅰ

Ⓑゼミ科目

4年ゼミ（前期・後期）

3年ゼミ（前期・後期）

2年ゼミ

基礎ゼミ Ⅱ

基礎ゼミⅠ

Ⓒ主専攻科目群

赤字）グローバルリベラルアーツ科目群

グローバルリベラルアーツA　グローバルリベラルアーツB　グローバルリベラルアーツC　グローバルリベラルアーツD

英米文学・文化	英語研究	英語教育	メディアコミュニケーション	ビジネスコミュニケーション
イギリス文学 A	英語の歴史	英語科教育法	Media Communication	Business Communication A
イギリス文学 B	英語音声学	第二言語習得	Media Literacy	Business Communication B
アメリカ文学 A	語彙研究	学習英文法研究	Publication Media	Business Presentation A
イギリス文学 B	英語語法・文法研究	教材研究	Broadcast Media	Business Presentation B
英米詩	意味論	クラスルームイングリッシュ	Film Criticism	Business Writing
ファンタジー・児童文学	社会言語学	マイクロティーチング演習	Language of Advertising	Technical Writing
ニューイングランド文学・文化	心理言語学	児童英語教育概論	Popular Music	Business across Cultures
比較文学・文化	コーパス研究	児童英語活動の研究	Digital Media	Hospitality English
イギリス文化研究	英語学研究 A	児童英語教育演習	Digital Production	秘書英語
アメリカ文化研究	英語学研究 B		English for New Media	English in Business Context
宗教とグローバル社会	英語学研究 C		Public Speaking A	通訳実践トレーニング
アメリカの社会と文化	英語学研究 D		Public Speaking B	日英通訳翻訳研究
アメリカの社会と宗教	英語学研究 E		Journalistic Writing	英語で地域貢献
			Computer Literacy A	ツーリズム論
			Computer Literacy B	ホスピタリティ・マネージメント
			メディアと社会の変容	顧客コミュニケーション
			メディア技術と倫理	国際社会でのコミュニケーションA
			メディアリテラシー概論	国際社会でのコミュニケーション B
				異文化コミュニケーション(英語)
				開発と環境(英語)
				開発援助(英語)
				ビジネスコミュニケーション研究 A
				ビジネスコミュニケーション研究 B
				ビジネスコミュニケーション研究 C
				ビジネスコミュニケーション研究 D

New England Studies (F)
Discussion ofAmerican Issues (F)
TOEIC Preparation

Boston Fall Extension A
Boston Fall Extension B
Boston Fall Extension C

秋季ボストン・リベラルアーツ
20科目から3科目(6単位)を
一般教養科目として選択履修

英米文学・文化概論　英語研究概論　英語教育概論　メディアコミュニケーション概論　ビジネスコミュニケーション概論

英コミ概論

Ⓓ留学前準備科目

Japan in the World
ニューイングランド研究
英語特別演習 ⅠA・ⅠB
英語特別演習 ⅡA・ⅡB
SAP(Study Abroad Preparation)
Intensive English A・B・C・D

Ⓔキャリア関連科目

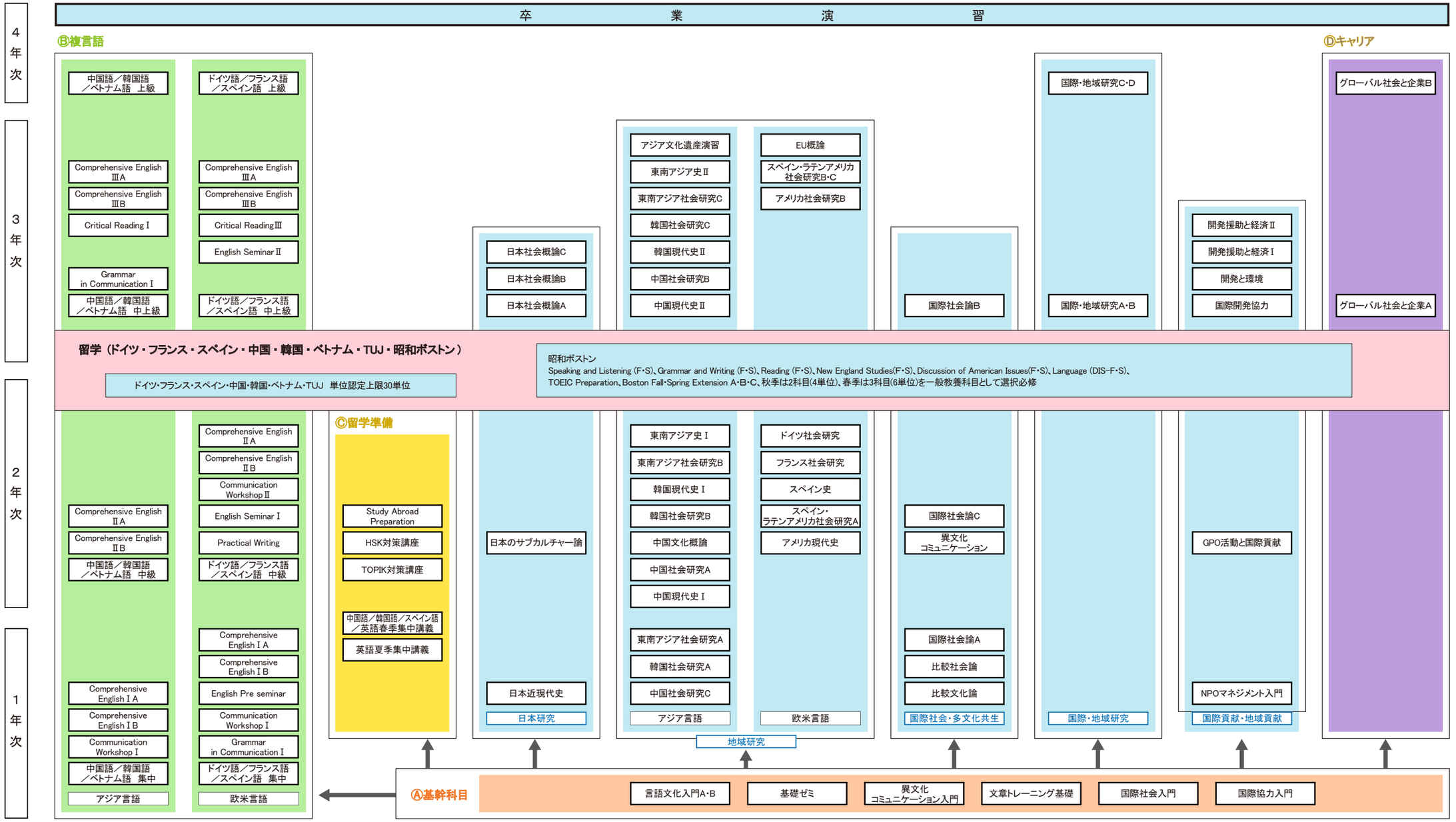
英コミ
キャリア実践

英コミ
キャリア基礎論

国際学科　カリキュラムツリー

Ⓐ基幹科目　Ⓑ複言語科目　Ⓒ留学準備　Ⓓキャリア

[知識・技能]		[自主・自律]		[協働・調和]	
DP.1 Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ 国際通用語としての英語にくわえ、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ベトナム語・ドイツ語・フランス語・スペイン語等）を学習して身につけた言語運用の力に基づき、自らの意見を的確に表現できる。	DP.2 Ⓑ Ⓒ Ⓓ グローバル化が進む時代において、専門知識や言語能力を生かして国際社会や地域社会に貢献できる。	DP.3 Ⓑ Ⓒ Ⓓ 国際社会における複雑な問題群を多面的に理解し、問題解決に向けて論理的・批判的な思考を駆使しながら多角的に考え、解決策を提案することができる。	DP.4 Ⓒ Ⓓ 主体的に目標を設定し、自主的・自律的にやり遂げることができる。	DP.5 Ⓑ Ⓒ Ⓓ 海外留学と異文化世界における国際交流を通して、複眼的な視点と双方向的なコミュニケーション能力を身につけ、コミュニティーの一員としての倫理観と責任感をもつことができる。	DP.6 Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ 自文化と他文化に対するバランス感覚と柔軟な判断力を兼ねそなえ、共生の道に向けて行動できる。



グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科カリキュラムツリー

相互連携関係　　スキル科目

［知識・技能］		［自主・自律］		［協働・調和］	
DP.1 必要な専門的知識を体系的に理解し、グローバルなビジネス社会において新たな市場を創造し、ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。	DP.2 必要な論理的思考力、英語力、情報処理能力を有し、新たなビジネスを企画・発信し、社会貢献できる。	DP.3 自身の置かれた環境を分析し、自身の強みを把握することを通じて、自律的に目標と行動計画を構想することができる。	DP.4 ビジネスや社会をよりよい状態に近づけるために、現場の視点と当事者意識をもって、自ら課題を発見し、解決策を立案し、実践的に行動することができる。	DP.5 仲間と共感し、協調し、チームの力を引き出して具体的な成果を挙げることができる。	DP.6 情報通信技術を活用しつつ、異文化を理解し、社会のニーズを把握し、時代と調和した視野を持って多様な人々と協働することができる。

4年次 応用

卒業プロジェクト

3年次 発展

ポストボストン
- Academic Writing Ⅱ・Ⅲ
- Business English Ⅱ・Ⅲ
- Advanced Business English B

【経済学系統】
- グローバリゼーションと日本経済の課題
- 文明と経済
- 労働と社会保障
- 中級ミクロ経済学
- 日本の女性政策
- 国際経済論
- 中級マクロ経済学

【経営学系統】
- 女性のための組織行動論
- 非営利組織のマネジメント
- ビジネス法務・会社法
- 会計学
- 経営組織論
- 組織行動論
- パーソナル・ファイナンス
- 簿記論
- ビジネス法務・民事法
- 経営戦略論
- 経営管理論

経済・経営基盤科目

【コンテンツ科目】
- Sustainability and Business
- Global Governance and Business
- Economic Policy
- Intercultural Understanding for Business
- Japanese Subculture
- International Negotiation
- 地球環境のガバナンス
- International Business Ⅱ
- International Business Ⅰ
- グローバル発想とリーダーシップ
- ビジネス交渉学
- 環境と資源の経済学

【スキル科目】
- TOEIC Preparation Ⅱ
- TOEIC Preparation Ⅰ

グローバルビジネス集中領域

【コンテンツ科目】
- 経済モデル分析
- ICTビジネス入門
- イノベーションマネジメント
- スモールビジネス論
- 生活者とメディア
- 起業とベンチャービジネス
- ベンチャー企業の戦略
- メディア産業論

【スキル科目】
- データ解析法Ⅱ
- データ解析法Ⅰ
- ビジネス・コンピューティングⅢ
- プログラミングⅡ
- ビジネスのための数学
- MOS検定上級講座
- ビジネス・コンピューティングⅡ
- プログラミングⅠ

ICT イノベーション集中領域

【コンテンツ科目】
- 経営理念と企業倫理
- 消費者行動論
- ホスピタリティ・マネジメントⅡ
- ホスピタリティ・マネジメントⅠ
- 流通と販売の戦略
- ブランド論
- 市場メカニズムと企業行動
- マーケティング戦略と市場創造
- プロモーション戦略
- インバウンドビジネス論

【スキル科目】
- リテール販売の実務Ⅱ
- マーケティング・リサーチⅡ
- ディベート
- 論理的思考とプレゼンテーション
- マーケティング・リサーチⅠ
- リテール販売の実務Ⅰ

ビジネスデザイン集中領域

- プロジェクトゼミナールⅢ・Ⅳ
- プロジェクトゼミナールⅠ・Ⅱ
- ビジネス開発研究A～J
- グローバルビジネス基礎演習Ⅲ
- ビジネスキャリア・ディベロップメントⅡ
- ビジネスキャリア・ディベロップメントⅠ

2年次 基礎

ポストボストン
- Academic Writing Ⅰ
- Business English Ⅰ
- Advanced Business English A

ボストン留学プログラム

1年次 導入

プレボストン
- Introduction to Business English Ⅰ・Ⅱ
- Reading and Discussion Ⅰ・Ⅱ
- Grammar and Writing Ⅰ・Ⅱ
- 英語特別演習
- Essential English
- Advanced English

インテンシブ英語

ビジネス5つの知・基盤科目
- 経済学の理論（経済学的思考）
- ファイナンス基礎（経営資源）
- マーケティング論（顧客づくり）
- 世界の経済事情（視野づくり）
- ビジネスと会計（経営資源）
- 組織とマネジメント（組織づくり）

学科専門科目

- グローバルビジネス基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 女性のキャリア形成とビジネスⅡ
- ビジネス・コンピューティングⅠ
- 女性のキャリア形成とビジネスⅠ
- ビジネス・コンピューティング入門

スキル

グローバルビジネス学部　会計ファイナンス学科

■ビジネス基礎＆スキル　■専門科目群（会計）　■専門科目群（ファイナンス）　■実践・キャリア科目

［知識・技能］		［自主・自律］		［協働・調和］
DP.1 グローバルなビジネス社会において、簿記やファイナンシャルプランナーの資格をもって、高度なスキルを身に付けたビジネス・パーソンとして貢献できる。	DP.2 ビジネスや社会の現場において重要な課題を発見し、会計およびファイナンスの知見から科学的に分析することができる。	DP.3 会計およびファイナンスといったビジネスリテラシーを基礎に、経済社会を分析し、自律的に目標と行動計画を構想できる。	DP.4 時代の変化や社会のニーズに的確に対応できる実践的な応用力を有し、自身で問題を解決することができる。	DP.5 専門職としての適切な態度、高度な倫理観、優れたコミュニケーション能力を有し、チームの一員として多様な人々と協働することができる。

卒　業　研　究

ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

3・4年次

2年次

1年次

専門科目群（会計）

- BATIC
- 連結会計
- 税務会計
- 監査論
- 資格簿記論Ⅱ
- 工業簿記応用演習
- アカウンティングケース
- 財務会計論
- 商業簿記応用演習
- 管理会計論
- 工業簿記
- 工業簿記演習
- 資格簿記論Ⅰ
- 商業簿記Ⅱ
- 簿記演習Ⅱ
- 商業簿記Ⅰ
- 簿記演習Ⅰ
- 簿記入門

専門科目群（ファイナンス）

- ファイナンスケース
- 会計F特論C
- 会計F特論B
- スモールビジネス論
- 起業とベンチャー
- 金融ビジネスのニュートレンド
- 現代金融ビジネス入門
- コーポレートF
- 会計F特論A
- 金融の基礎
- ファイナンス基礎
- 租税と社会
- 社会保障論
- 実験ファイナンス
- ビジネスF
- 財務分析
- FPⅡ
- パーソナルF
- FPⅠ
- 金融論

ビジネス基礎＆スキル

- コーポレートガバナンス論
- データ解析法Ⅱ
- データ解析法Ⅰ
- ビジネスコンピューティングⅢ
- ミクロ経済学
- エコノミクスケース
- ビジネスコンピューティングⅡ
- マクロ経済学
- ビジネスエコノミクス
- 経営組織論
- 経営戦略論
- 経営管理論
- 世界の経済事情
- 経済学の理論
- 組織とマネジメント
- ビジネスコンピューティング入門・Ⅰ
- 会計Fのための基礎数学
- マネジメントケース
- 調査の手法とビジネス統計
- グローバルケース
- 経営理念と企業倫理
- ビジネスのための数学
- 会社法
- マーケティングケース
- 商法
- 論理的思考とプレゼンテーション
- 市場調査入門
- ビジネスと会計
- マーケティング論

実践・キャリア科目

- 女性のための組織行動論
- ことばと人間
- キャリアディベロップメント
- 日本のサブカルチャー
- キャリアP基礎演習Ⅳ
- 産業の分析
- キャリアP基礎演習Ⅲ
- 日本の女性政策
- キャリアP基礎演習Ⅱ
- 会計Fキャリア形成論
- 女性のキャリア形成とビジネス
- キャリアP基礎演習Ⅰ

心理学科カリキュラムツリー

［知識・技能］		［自主・自律］		［協働・調和］
心理学の知識と技能を身につけ応用できる。	人と社会の諸問題に関心をもち、心理学を活かしてアプローチし、その解決に貢献できる。	諸問題の解決に向けて、自らが取り組むべき目標を見つけることができる。	目標達成に向けて、心理学の幅広い視点から、柔軟に取り組み続けることができる。	自己と他者の特性を理解し、自己を活かしつつ他者と協働できる。

※青字は必修科目

4年次

卒業論文

3年次

【各論】

心理実習

公認心理師の職責　関係行政論

【公認心理師科目】

健康・医療心理学
福祉心理学
犯罪臨床心理学
精神分析理論

観光心理学

社会・集団・家族心理学
司法・犯罪心理学
産業・組織心理学
対人関係論
広告と消費の心理学
災害の社会心理学

心理的アセスメント
精神疾患とその治療
心理学的支援法
人体の構造と機能及び疾病

感情・人格心理学
知覚・認知心理学
学習・言語心理学
神経・生理心理学
思考心理学
認知領域

家族心理学
教育・学校心理学
障害者・障害児心理学

乳幼児心理学
児童心理学
青年心理学
発達領域

社会領域

臨床領域

心理学概論　発達心理学　社会心理学概論　臨床心理学概論

【概論】

心理学専門演習Ⅱ

心理学専門演習Ⅰ

心理学入門演習

【演習】

心理演習
心理実験法実習
質問紙調査法実習
心理調査課題演習
心理学外書講読

データ解析Ⅱ

発展科目

データ解析Ⅰ
心理学研究法
心理検査法実習

心理学実験
心理学統計法

基礎科目

【方法論】

社会科学と社会調査
社会調査の理論と方法
フィールドワークと質的分析

【社会調査士科目】

心理支援コミュニティ・サービスラーニング
心理学総合演習A～D
アメリカ心理学研修

【実践科目】

2年次

公民科教育法（教職科目）

現代政治論　国際関係論
現代社会論　ことばと社会
市民社会の法（法を考える）
マスメディアと現代社会
グローバル社会の政治経済学
哲学

法学概論　現代社会と社会学
倫理学概論　文化人類学概論

【心理学関連科目】

1年次

社会を見る目
世界を見る目
社会福祉Ⅰ
社会福祉Ⅱ
教育学概説Ⅰ
教育学概説Ⅱ

【人間社会学総論】

福祉社会学科カリキュラムツリー　社会福祉士指定科目を中心に履修する場合

DP.1 ● 2 4 1
社会福祉の価値を理解するとともに、人と社会に関する学際的教養、福祉・保健・医療に関する専門知識を有し、対人援助ならびに福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.2 1 2 3 1 2 ●
福祉・保健・医療における社会的課題に対し理解を深め、論理的思考力に基づく分析、研究、及び実践ができる。

DP.3 4 1 2
ソーシャルワークコースは、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士の資格取得をめざし、福祉制度・政策やソーシャルワーク、保育に関する基礎的理論を体系的に理解し、多様な分野における福祉的課題解決の実践に活かすことができる。
言語聴覚士コースは、言語聴覚士の資格取得をめざし、言語聴覚障害や保健・医療に関する基礎的知識や専門的実践力を臨床現場の実践に活かすことができる。

DP.4 1 2 3 4 2 ●
現代の社会的課題について関心を持ち、人々の福祉の向上や福祉社会づくりに向けて自ら目標を立て、福祉・保健・医療の専門性を活かしながら多角的に考え、やり遂げることができる。

DP.5 2 3 1
福祉社会や国際・多文化社会における課題を解決するための視野、人間性、コミュニケーション能力を有し、リーダーシップやコーディネーターとしての力を主体的に発揮することができる。

DP.6 2 2 3
国際・多文化に関連する問題に関心を持ち、人の多様性を尊重したうえで福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.7 1 2 ●
幅広い教養や専門知識を持ち、地域住民や行政、多職種との協働的実践のためのネットワークを形成することができる。

4年次
3年次
2年次
1年次

卒　業　論　文

1
福祉科教育法
教職

1
ソーシャルワークプロジェクトⅢ
ソーシャルワークプロジェクトⅡ
ソーシャルワークプロジェクトⅠ
プロジェクト科目

●
社会をみる目
世界をみる目
教育学概説Ⅱ
社会心理学概論
心理学概論
教育学概説Ⅰ
人間社会学総論

更生保護制度
権利擁護と成年後見制度
社会保障Ⅱ
社会保障Ⅰ
福祉行財政と福祉計画
福祉サービスの組織と経営
制度・政策

低所得者に対する支援と生活保護制度
地域福祉の理論と方法Ⅱ
地域福祉の理論と方法Ⅰ
現代社会と福祉Ⅱ
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ
障害者に対する支援と障害者自立支援制度
現代社会と福祉Ⅰ
原理・分野

社会調査の基礎
社会理論と社会システム
心理学理論と心理的支援
人体の構造と機能及び疾病
専門共通

就労支援サービス
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ
保健医療サービス
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ
方法・技術

社会福祉士専門

2
ソーシャルワーク演習Ⅲ
ソーシャルワーク演習ⅡB
ソーシャルワーク実習指導ⅡB
ソーシャルワーク実習
ソーシャルワーク演習ⅡA
ソーシャルワーク実習指導ⅡA
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ
ソーシャルワーク演習ⅠB
ソーシャルワーク演習ⅠA
演習・実習

4
社会福祉総合講座Ⅳ
社会福祉総合講座Ⅲ
社会福祉総合講座Ⅱ
社会福祉総合講座Ⅰ
総合講座

2
多文化ソーシャルワーク論
福祉英語Ⅱ
グローバル社会と福祉
福祉英語Ⅰ
国際・多文化フィールドワーク
海外ボランティア入門
国際福祉実習Ⅰ・Ⅱ
国際福祉演習Ⅰ・Ⅱ
国際福祉論
国際・多文化

雇用・労働と社会政策
メンタルヘルスソーシャルワーク論
スクールソーシャルワーク論
コミュニティ・ビジネス論
ライフサイクルと疾病
加齢と障害の理解
生活福祉経営論
情報機器の操作とデータ分析
女性に対する支援と福祉施策
社会福祉Ⅱ
社会福祉Ⅰ
福祉社会とボランティア
生活・地域・社会

学科共通

3
専門演習ⅡB
専門演習ⅡA
専門特別実習
専門演習ⅠB
専門演習ⅠA
研究・卒論

●
社会調査実習Ⅱ
社会調査実習Ⅰ
フィールドワークと質的分析
社会経済統計Ⅱ
社会経済統計Ⅰ
社会調査の基礎
社会科学と社会調査
情報機器の操作とデータ分析
社会調査士科目

基　礎　演　習

必修科目
学科共通科目（8単位必修）
社会福祉士科目
精神保健福祉士科目
保育士科目
言語聴覚士科目
社会調査士科目
実習・演習系科目

福祉社会学科カリキュラムツリー　言語聴覚士指定科目を中心に履修する場合

DP.1 ① ② ③
社会福祉の価値を理解するとともに、人と社会に関する学際的教養、福祉・保健・医療に関する専門知識を有し、対人援助ならびに福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.2 ① ② ③ ② ③
福祉・保健・医療における社会的課題に対し理解を深め、論理的思考力に基づく分析、研究、及び実践ができる。

DP.3 ① ② ③
ソーシャルワークコースは、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士の資格取得をめざし、福祉制度・政策やソーシャルワーク、保育に関する基礎的理論を体系的に理解し、多様な分野における福祉的課題解決の実践に活かすことができる。言語聴覚士コースは、言語聴覚士の資格取得をめざし、言語聴覚障害や保健・医療に関する基礎的知識や専門的実践力を臨床現場の実践に活かすことができる。

DP.4 ① ② ③ ③
現代の社会的課題について関心を持ち、人々の福祉の向上や福祉社会づくりに向けて自ら目標を立て、福祉・保健・医療の専門性を活かしながら多角的に考え、やり遂げることができる。

DP.5 ② ③ ③
福祉社会や国際・多文化社会における課題を解決するための視野、人間性、コミュニケーション能力を有し、リーダーシップやコーディネーターとしての力を主体的に発揮することができる。

DP.6 ②
国際・多文化に関連する問題に関心を持ち、人の多様性を尊重したうえで福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.7 ① ②
幅広い教養や専門知識を持ち、地域住民や行政、多職種との協働的実践のためのネットワークを形成することができる。

4年次
3年次
2年次
1年次

卒業論文

1年次
- 人間社会学総論
  - 社会をみる目
  - 世界をみる目
  - 教育学概説Ⅱ
  - 社会心理学概論
  - 心理学概論
  - 教育学概説Ⅰ

プロジェクト科目
- ソーシャルワークプロジェクトⅠ
- ソーシャルワークプロジェクトⅡ
- ソーシャルワークプロジェクトⅢ

言語聴覚士基礎
基礎医学
- 医学総論・リハビリテーション医学総論
- 人体の構造と機能Ⅰ
- 人体の構造と機能Ⅱ
- 疾病の科学（病理学）

臨床医学
- 臨床医学Ⅳ（言語聴覚系再建 耳鼻咽喉科学・形成外科学）
- 臨床医学Ⅰ（内科系）
- 臨床医学Ⅱ（小児科系）
- 臨床医学Ⅲ（精神医学・臨床神経学）

心理学
- 心理測定法Ⅰ
- 心理測定法Ⅱ
- 生涯発達心理学
- 学習・認知心理学
- 神経心理学
- 臨床心理学

音声・言語・聴覚医学
- 音声言語医学
- 聴覚医学

臨床歯科医学
- 臨床歯科医学・口腔外科学

言語聴覚士専門
音声・言語学
- 言語学
- 音声学
- 言語発達学
- 音響学・聴覚心理学Ⅰ
- 音響学・聴覚心理学Ⅱ

言語聴覚総論
- 言語聴覚障害学総論
- 言語聴覚障害学基礎演習Ⅰ
- 言語聴覚障害学基礎演習Ⅱ
- 言語聴覚障害診断学

失語・高次脳機能障害学
- 失語症学Ⅰ
- 失語症学Ⅱ
- 失語・高次脳機能障害学検査法演習Ⅰ
- 高次脳機能障害学Ⅰ
- 高次脳機能障害学Ⅱ
- 失語・高次脳機能障害学検査法演習Ⅱ

言語発達学
- 言語発達障害学ⅠA（総論）
- 言語発達障害学検査法演習Ⅰ
- 言語発達障害学ⅠB（総論）
- 言語発達障害学検査法演習Ⅱ
- 言語発達障害学Ⅱ（各論脳性麻痺及び学習障害）

発声発語・嚥下障害学
- 発声発語障害学Ⅰ（構音障害）
- 発声発語障害学Ⅱ（構音障害）
- 発声発語障害学検査法演習Ⅰ
- 発声発語障害学Ⅲ（音声障害）
- 発声発語障害学検査法演習Ⅱ
- 嚥下障害学
- 発声発語障害学Ⅳ（吃音）

聴覚障害学
- 聴覚障害学Ⅰ（総論・聴力検査）
- 聴覚障害学Ⅱ（小児聴覚障害）
- 聴覚障害学Ⅲ（成人聴覚障害）
- 聴覚障害学Ⅳ（補聴器・人工内耳）
- 聴覚検査法演習
- 臨床実習（臨床実習評価法演習）
- 臨床実習（学外実習）

社会福祉・教育
- 社会福祉・教育

学科共通
国際・多文化
- 国際福祉論
- 福祉英語Ⅰ
- 福祉英語Ⅱ
- 国際・多文化フィールドワーク
- 海外ボランティア入門
- グローバル社会と福祉
- 国際福祉実習Ⅰ・Ⅱ
- 国際福祉演習Ⅰ・Ⅱ
- 多文化ソーシャルワーク論

生活・地域・社会
- 福祉社会とボランティア
- 社会福祉Ⅰ
- 社会福祉Ⅱ
- 女性に対する支援と福祉施策
- 情報機器の操作とデータ分析
- 生活福祉経営論
- 加齢と障害の理解
- ライフサイクルと疾病
- コミュニティ・ビジネス論
- スクールソーシャルワーク論
- メンタルヘルスソーシャルワーク論
- 雇用・労働と社会政策

研究・卒論
- 研究・卒論
- 専門演習ⅠA
- 専門演習ⅠB
- 専門特別実習
- 専門演習ⅡA
- 専門演習ⅡB

社会調査士科目
- 情報機器の操作とデータ分析
- フィールドワークと質的分析
- 社会調査の基礎
- 社会科学と社会調査
- 社会経済統計Ⅰ
- 社会経済統計Ⅱ
- 社会調査実習Ⅰ
- 社会調査実習Ⅱ

基礎演習

必修科目 / 学科共通科目（4単位必修） / 社会福祉士科目 / 精神保健福祉士科目 / 保育士科目 / 言語聴覚士科目 / 社会調査士科目 / 実習・演習系科目

福祉社会学科カリキュラムツリー　保育士指定科目を中心に履修する場合

DP.1 ● 2 1 2
社会福祉の価値を理解するとともに、人と社会に関する学際的教養、福祉・保健・医療に関する専門知識を有し、対人援助ならびに福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.2 1 2 3 1 2 ●
福祉・保健・医療における社会的課題に対し理解を深め、論理的思考力に基づく分析、研究、及び実践ができる。

DP.3 1 2
ソーシャルワークコースは、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士の資格取得をめざし、福祉制度・政策やソーシャルワーク、保育に関する基礎的理論を体系的に理解し、多様な分野における福祉的課題解決の実践に活かすことができる。
言語聴覚士コースは、言語聴覚士の資格取得をめざし、言語聴覚障害や保健・医療に関する基礎的知識や専門的実践力を臨床現場の実践に活かすことができる。

DP.4 1 2 3 1 2 ●
現代の社会的課題について関心を持ち、人々の福祉の向上や福祉社会づくりに向けて自ら目標を立て、福祉・保健・医療の専門性を活かしながら多角的に考え、やり遂げることができる。

DP.5 2 3 1 2
福祉社会や国際・多文化社会における課題を解決するための視野、人間性、コミュニケーション能力を有し、リーダーシップやコーディネーターとしての力を主体的に発揮することができる。

DP.6 2
国際・多文化に関連する問題に関心を持ち、人の多様性を尊重したうえで福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.7 1 2 ●
幅広い教養や専門知識を持ち、地域住民や行政、多職種との協働的実践のためのネットワークを形成することができる。

4年次

卒業論文

3年次

2年次

1年次

保育士専門

1

保育の本質・目的
- ソーシャルワーク演習ⅠB
- ソーシャルワーク演習ⅠA
- 現代社会と福祉Ⅱ
- 現代社会と福祉Ⅰ
- 保育者論
- 社会的養護Ⅰ
- 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
- 教育原理
- 保育原理

保育の対象の理解
- 子ども家庭支援論
- 子どもの食と栄養
- 子ども家庭支援の心理学
- 子どもの理解と援助
- 子どもの保健
- 保育の心理学

保育の内容・方法
- 子育て支援
- 乳児保育Ⅱ
- 乳児保育Ⅰ
- 保育の計画と評価
- 障害児保育
- 社会的養護Ⅱ
- 子どもの健康と安全
- レクリエーション援助法
- 保育内容総論
- 保育内容―人間関係
- 保育内容―言葉
- 保育内容―健康
- 保育内容―環境
- 保育内容―表現
- 保育の理解と方法―運動遊び
- 保育の理解と方法―音楽表現
- 保育の理解と方法―児童文化
- 保育の理解と方法―音楽基礎
- 保育の理解と方法―造形表現
- 保育の理解と方法―造形基礎

2

演習・実習
- 保育実習Ⅱ・Ⅲ
- 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ
- 保育実践演習Ⅱ
- 保育実習指導Ⅰ（保育所）
- 保育実習Ⅰ（保育所）
- 保育実践演習Ⅰ
- 保育実習指導Ⅰ（施設）
- 保育実習Ⅰ（施設）

学科共通

2

国際・多文化
- 多文化ソーシャルワーク論
- 福祉英語Ⅱ
- 福祉英語Ⅰ
- 国際・多文化フィールドワーク
- グローバル社会と福祉
- 海外ボランティア入門
- 国際福祉実習Ⅰ・Ⅱ
- 国際福祉演習Ⅰ・Ⅱ
- 国際福祉論

生活・地域・社会
- 雇用・労働と社会政策
- メンタルヘルスソーシャルワーク論
- スクールソーシャルワーク論
- コミュニティ・ビジネス論
- ライフサイクルと疾病
- 加齢と障害の理解
- 生活福祉経営論
- 情報機器の操作とデータ分析
- 女性に対する支援と福祉施策
- 社会福祉Ⅱ
- 社会福祉Ⅰ
- 福祉社会とボランティア

3
- 専門演習ⅡB
- 専門演習ⅡA
- 専門特別実習
- 専門演習ⅠB
- 専門演習ⅠA
- 研究・卒論

社会調査士科目
- 社会調査実習Ⅱ
- 社会調査実習Ⅰ
- フィールドワークと質的分析
- 社会経済統計Ⅱ
- 社会経済統計Ⅰ
- 社会調査の基礎
- 社会科学と社会調査
- 情報機器の操作とデータ分析

プロジェクト科目
- ソーシャルワークプロジェクトⅢ
- ソーシャルワークプロジェクトⅡ
- ソーシャルワークプロジェクトⅠ

人間社会学総論
- 社会をみる目
- 世界をみる目
- 教育学概説Ⅱ
- 社会心理学概論
- 心理学概論
- 教育学概説Ⅰ

基礎演習

必修科目 / 学科共通科目（8単位必修） / 社会福祉士科目 / 精神保健福祉士科目 / 保育士科目 / 言語聴覚士科目 / 社会調査士科目 / 実習・演習系科目

福祉社会学科カリキュラムツリー　精神保健福祉士指定科目を中心に履修する場合

DP.1 ● 2 4 1 2
社会福祉の価値を理解するとともに、人と社会に関する学際的教養、福祉・保健・医療に関する専門知識を有し、対人援助ならびに福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.2 1 2 3 2 ●
福祉・保健・医療における社会的課題に対し理解を深め、論理的思考力に基づく分析、研究、及び実践ができる。

DP.3 4 1 2
ソーシャルワークコースは、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士の資格取得をめざし、福祉制度・政策やソーシャルワーク、保育に関する基礎的理論を体系的に理解し、多様な分野における福祉的課題解決の実践に活かすことができる。
言語聴覚士コースは、言語聴覚士の資格取得をめざし、言語聴覚障害や保健・医療に関する基礎的知識や専門的実践力を臨床現場の実践に活かすことができる。

DP.4 1 2 3 4 2 ●
現代の社会的課題について関心を持ち、人々の福祉の向上や福祉社会づくりに向けて自ら目標を立て、福祉・保健・医療の専門性を活かしながら多角的に考え、やり遂げることができる。

DP.5 2 3
福祉社会や国際・多文化社会における課題を解決するための視野、人間性、コミュニケーション能力を有し、リーダーシップやコーディネーターとしての力を主体的に発揮することができる。

DP.6 2
国際・多文化に関連する問題に関心を持ち、人の多様性を尊重したうえで福祉社会の構築に貢献することができる。

DP.7 1 2 1 ●
幅広い教養や専門知識を持ち、地域住民や行政、多職種との協働的実践のためのネットワークを形成することができる。

4年次
3年次
2年次
1年次

卒業論文

● 社会をみる目
世界をみる目
教育学概説Ⅱ
社会心理学概論
心理学概論
教育学概説Ⅰ
人間社会学総論

1 ソーシャルワークプロジェクトⅢ
ソーシャルワークプロジェクトⅡ
ソーシャルワークプロジェクトⅠ
プロジェクト科目

1
精神保健福祉論Ⅱ
精神保健福祉論Ⅰ
低所得者に対する支援と生活保護制度
精神疾患とその治療
地域福祉の理論と方法Ⅱ
地域福祉の理論と方法Ⅰ
精神保健の課題と支援
障害者に対する支援と障害者自立支援制度
現代社会と福祉Ⅱ
現代社会と福祉Ⅰ
原理・分野

精神保健福祉援助技各論
精神科リハビリテーション学
精神保健福祉援助技術総論
保健医療サービス
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ
方法・技術

権利擁護と成年後見制度
社会保障Ⅱ
社会保障Ⅰ
福祉行財政と福祉計画
制度・政策

社会理論と社会システム
心理学理論と心理的支援
人体の構造と機能及び疾病
専門共通

精神保健福祉士専門

2
精神保健福祉援助演習Ⅲ
精神保健福祉援助実習指導ⅡB
精神保健福祉援助実習
精神保健福祉援助実習指導ⅡA
精神保健福祉援助演習Ⅱ
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ
精神保健福祉援助演習Ⅰ
演習・実習

4
社会福祉総合講座Ⅳ
社会福祉総合講座Ⅲ
社会福祉総合講座Ⅱ
社会福祉総合講座Ⅰ
総合講座

2
多文化ソーシャルワーク論
福祉英語Ⅱ
福祉英語Ⅰ
国際・多文化フィールドワーク
国際福祉論
国際・多文化

雇用・労働と社会政策
メンタルヘルスソーシャルワーク論
スクールソーシャルワーク論
コミュニティ・ビジネス論
ライフサイクルと疾病
加齢と障害の理解
グローバル社会と福祉
海外ボランティア入門
国際福祉実習Ⅰ・Ⅱ
国際福祉演習Ⅰ・Ⅱ
生活福祉経営論
情報機器の操作とデータ分析
女性に対する支援と福祉施策
社会福祉Ⅱ
社会福祉Ⅰ
福祉社会とボランティア
生活・地域・社会

学科共通

3
専門演習ⅡB
専門演習ⅡA
専門特別実習
専門演習ⅠB
専門演習ⅠA
研究・卒論

●
社会調査実習Ⅱ
社会調査実習Ⅰ
フィールドワークと質的分析
社会経済統計Ⅱ
社会経済統計Ⅰ
社会調査の基礎
社会科学と社会調査
情報機器の操作とデータ分析
社会調査士科目

基礎演習

必修科目
学科共通科目（8単位必修）
社会福祉士科目
精神保健福祉士科目
保育士科目
言語聴覚士科目
社会調査士科目
実習・演習系科目

現代教養学科 カリキュラムツリー

必修科目　選択科目

［知識・技能］	［自主・自律］		［協働・調和］	
DP.1 社会科学の考え方を学び、横断的な視点・知識をもって社会問題の解決策を提案できる。	DP.2 現代における課題を自ら発見し、自分の特性や能力を発揮しながら、自ら取り組むべき目標を設定できる。	DP.3 多様な社会の一員であることを自覚し、自主的に表現・発信ができる。	DP.4 実践的な活動を通して、多様な人々と協働できる。	DP.5 他者を尊重し、周りに良い影響を与えながらイニシアティブをとることができる。

4年次

卒　業　論　文

ゼミナールⅠ～Ⅳ

3年次

ボストン英語プログラム
- SPRING 15: New England Studies (S) / Discussion of American Issues (S) / Community Service: Theory and Practice
- FALL15: New England Studies (F) / Discussion of American Issues (F) / TOEIC Preparation / Volunteering: Theory and Practice

留学関連科目: 海外講義(専門) AI～X／ BI～X / 海外演習(専門) AI～X／ BI～X

【学科展開科目群】

- 消費と経済
- 生活経営研究
- グローバル社会の政治経済学
- 地域研究B
- 国際関係論
- 地域研究A
- エスニシティ論
- 地域社会のデザイン（都市）
- 現代都市論
- 環境と地域づくり
- 消費と環境
- エコロジー研究
- くらしと地球環境
- 社会問題概観
- 現代社会論
- 広告文化論
- 表象文化論
- アーカイブズ論
- ソーシャルメディア論
- メディア理論

メディア・コミュニケーション（ボストン・サマーセッション）
- Thematic Workshop in English
- Thematic Approach in English

【専門英語】

- 食とグローバル社会
- 人口動態と社会
- 国際関係史
- 国際理解入門
- ことばと社会
- 現代都市事情
- 地域社会の活性化（農村）
- 環境生態学
- 環境社会論
- 現代社会と社会学
- 情報文化論
- 表象文化と社会
- 情報と社会
- ネットワーク社会論
- メディアコミュニケーション論

【学科基礎科目群】

2年次

- アート・マネージメントⅠ/Ⅱ
- 社会科学の数学
- 一般教養専門認定科目
- 行政と地方自治
- 社会貢献と企業メセナ
- 現代政治と政治学
- 市民社会の法（法を考える）
- 公共政策と文化
- マスメディアと現代社会
- 現代政治論
- 哲学

政策科学 / 社会学 / 政治学 / 法学/哲学

【学科全般科目群】

グローバル・スタディーズ　ソーシャル・スタディーズ　メディア・スタディーズ

1年次

- 社会心理学概論
- 社会福祉Ⅱ
- 教育学概説Ⅱ
- 心理学概論
- 社会福祉Ⅰ
- 教育学概説Ⅰ

【学部共通科目】

- 世界をみる目
- 経済をみる目
- 環境をみる目
- 社会をみる目
- メディアをみる目
- 文化をみる目
- 現代教養入門 Ⅲ
- 現代教養入門 Ⅱ
- 現代教養入門 Ⅰ

【学科入門科目群】

- 社会調査実習Ⅱ
- 社会調査実習Ⅰ
- 社会経済統計Ⅱ
- 社会経済統計Ⅰ
- フィールドワークと質的分析
- 統計分析基礎
- 社会調査の理論と方法
- 社会科学と社会調査

【社会調査士科目群】

- メディア・リテラシーⅡC（映像編集）
- メディア・リテラシー Ⅱb（情報発信）
- メディア・リテラシーⅡa（デザイン）
- メディア・リテラシーⅠb（情報論）
- メディア・リテラシーⅠa（基礎）

【情報分析目群】

- 日本語表現Ⅲb（プレゼンテーション）
- 日本語表現Ⅲa（書き方／実践）
- 日本語表現Ⅱb（ナレーション）
- 日本語表現Ⅱa（書き方／応用）
- 日本語表現Ⅰb（話し方/基礎）
- 日本語表現Ⅰa（書き方/基礎）

【日本語発信表現科目群】

- 社会調査研修A-B
- ワークショップ技法
- アイディア発想技法
- パブリックリレーションズ
- プロジェクトファシリテーション
- CLAプロジェクトA／B

【PBL 科目群】

- 情報サービス演習A,B
- 情報サービス論
- 図書館サービス概論

【図書館学課程(全学取得資格)】

初等教育学科 カリキュラムツリー

赤字＝必修通年　紫字＝通年　黒字＝児童教育・幼児教育コース必修　グレー字＝児童教育・幼児教育コース選択必修

DP.1［知識・技能］	DP.2［知識・技能］	DP.3［自主・自律］	DP.4［協働・調和］	DP.5［知識・技能］児童教育コース	DP.6［知識・技能］幼児教育コース
教育および保育に関する的確な専門知識と豊かな教養を持ち、教育現場で実践することができる。	子どもの発達支援の在り方、教育、子どもを取り巻く社会環境に関心を持ち、それらに関して自ら課題を発見し、解決策を提案することができる。	教職に対する強い使命感と情熱を持ち、絶えず学び続ける意欲と研究力を発揮して、問題解決に向けて、多角的・論理的に考え、やり遂げることができる。	教育者・保育者にふさわしい資質を身につけ、他者と協働しながら、チームの一員として適切な行動をとることができる。	児童・幼児の心身の発達に関する専門的知識、学校教育に即した学習内容の深い理解および各教科の指導法を身につけ、授業実践や集団指導および個別指導ができる。小学校教諭免許状および幼稚園教諭免許状の取得が可能な能力を有する。	乳幼児の心身の発達に関する専門的知識、豊かな自己表現力・受容力を身につけ、乳幼児理解にもとづいた保育実践ができる。幼稚園教諭免許状および保育士資格の取得が可能な能力を有する。

教養科目群　基礎科目群　演習・実践科目群　実習・研修科目群　小学校免許科目群　幼稚園免許科目群　保育士資格科目群

卒業研究

4年次

- 教職実践演習(幼・小)
- 保育・教職実践演習（幼稚園）
- 教育学演習Ⅱ
- 教職課程特講
- 教育実習の指導Ⅱ
- 教育実習A
- 教育実習B
- 保育実習の指導Ⅲ
- 保育実習Ⅲ（施設）
- 保育実習の指導Ⅱ
- 保育実習Ⅱ（保育所）

3年次

- English Activity for Kids
- 教育法規
- 生徒・進路指導と学級経営の理論と方法
- 教育学演習Ⅰ
- 教育実習の指導Ⅰ
- 初等教育プロジェクト
- 国語科教育法演習　社会科教育法演習
- 算数科教育法演習　理科教育法演習
- 小学校教育課程論
- 国語科教育法　社会科教育法
- 算数科教育法　理科教育法
- 家庭科教育法　英語科教育法
- 総合的な学習の時間の指導法
- 道徳教育演習　特別活動演習
- 子ども家庭支援の心理学
- 幼児体育　子育て支援
- 地域福祉論　病児保育研究
- 保育のための音楽
- 教育相談の理論と方法
- 教育評価　教育経営
- TESOL Methods(2〜4年)
- American Stories in Music(2〜4年)
- Volunteering: Theory and Practice(2〜4年)
- Public Speaking(2〜4年)
- American Culture through Movies(2〜4年)
- Broadway Musical Theater(2〜4年)
- Children's Literature(2〜4年)
- Teaching about Japan(2〜4年)
- 保育実習の指導ⅠB
- 保育実習ⅠB(施設)
- 人間関係指導法Ⅱ
- 環境指導法Ⅱ
- 表現指導法Ⅱ
- 児童文化
- 保育のための造形

2年次

- Practical English Conversation
- 社会心理学概論　社会をみる目
- 世界をみる目　教育学概説Ⅱ
- 教育の歴史と思想　子どもの文学
- 教育社会学　比較教育
- 日本の伝統と言語文化　学習科学
- 教育のための調査と統計
- English Vocabulary Acquisition
- 特別支援教育の理論と方法
- 幼児期の特別支援
- 教育の方法と技術
- 救急法演習
- 保育実習の指導ⅠA
- 保育実習ⅠA(保育所)
- 生活科教育法　音楽科教育法
- 図工科教育法　体育科教育法
- 道徳の理論と指導法
- 特別活動の指導法
- 社会　家庭　英語
- 国語（書写を含む）
- 体育
- 算数
- 生活
- 音楽
- 図画工作
- 健康指導法Ⅱ
- 言葉指導法Ⅱ
- 人間関係指導法Ⅰ
- 環境指導法Ⅰ
- 表現指導法Ⅰ
- 保育・教育課程論
- 子どもの食と栄養
- 乳児保育Ⅱ
- レクリエーション指導法
- 教育学基礎演習Ⅱ
- 学校体験活動
- 介護等体験の指導
- 子ども理解の理論と方法
- 教育実践研究
- 対人コミュニケーション
- 理科
- 健康指導法Ⅰ
- 言葉指導法Ⅰ
- 保育内容総論
- 子どもの健康と安全
- 子ども家庭支援論
- 乳児保育Ⅰ　社会的養護Ⅱ
- アメリカ初等教育演習Ⅱ（1〜3年）
- アメリカ初等教育演習Ⅰ（1〜3年）

1年次

- 心理学概論　社会福祉Ⅰ
- 社会福祉Ⅱ　教育学概説Ⅰ
- メディア教育　人権教育
- 音楽演習A/B　特別支援教育概論
- English Oral Communication Clinic
- 教育心理学
- 教育学基礎演習Ⅰ
- 教職概論
- 教育原理
- 保育原理
- 情報機器の操作
- 発達心理学
- 教育基礎
- 社会福祉原論　保育者論
- 社会的養護Ⅰ
- 子ども家庭福祉
- 音楽基礎　造形基礎
- 子どもの保健
- 身体表現基礎

児童教育コース　幼児教育コース

環境デザイン学科カリキュラムツリー

環境デザイン学科　建築・インテリアデザインコース

学科共通コア科目

DP1
与えられた課題や要望に対して調査し、分野を跨いだ幅広い知見に基づき、状況や問題点の抽出、分析を行うことができる。

DP3
他者に対して自らの考えを伝達するためのスキルを修得し、活用することができる。

DP2
自己の能力・特性を生かし、チームの一員として多様な人々と協働できる。

ソーシャル
コミュニケーション
パーソナル

応用
基礎

方法論
- ブランディング戦略
- アートディレクター論
- 地域資産とまちづくり
- アントレプレナー論
- ソーシャルデザイン論
- デザインマネジメント
- マーケティング論
- 居住福祉論
- デザイン計画特講 A,B,C

歴史
- 日本建築史
- 西洋建築史
- 日本服飾史
- 西洋服飾史
- 産業デザイン史
- 東洋美術史
- 西洋美術史

概論
- 服飾デザインマネジメント概論
- 建築学概論
- デザインプロデュース概論
- プロダクトデザイン概論

科学
- 基礎科学（数学）
- 基礎科学（化学）
- 基礎科学（科学）
- 統計学
- データ分析基礎
- ユニバーサルデザイン
- 人間工学
- 環境の科学

プロジェクト
- デザイン実務演習 A,B,C
- DP総合演習 A,B,C,D
- 海外デザイン演習

リテラシー
- ベーシックプレゼンテーション
- ワークショップデザイン
- 3DCGデザイン演習
- マルチメディア演習
- CG基礎

素材
- 材料学(居住環境)
- 材料学(繊維)
- 染色加工学
- マテリアルセンス
- 色彩学

表現基礎
- 建築設計基礎
- 立体基礎
- 造形基礎
- デザインプロデュース基礎
- デッサン
- デザイン基礎

思考
- 発想とイメージ
- センスメイキング論
- 美学
- デザイン構想論

コース専門科目

DP4
国際的に通用する建築技術者として、社会と産業の発展に寄与するとともに、デザインにより空間の魅力を創出することができる。

計画・歴史
環境・設備
構造
施工・材料

AI

4年次
- 卒業研究
- 卒業研究関連科目
  住環境演習,建築構造学演習,設計プロセス演習,建築デザイン演習,住居・建築史演習
  材料・環境科学演習,空間デザイン演習,都市環境学演習,環境計画演習
- 設計製図Ⅲ
- 造園

3年次
- 設計製図Ⅱ・インテリアデザイン演習B・建築系論文基礎演習
- 家具デザイン
- 近代建築史
- 建築法規
- 都市計画
- 都市・建築デザイン論
- 建築計画Ⅲ
- 建築計画Ⅱ
- 建築設備Ⅱ
- 建築設備Ⅰ
- 建築学実験(環境)
- 耐震構造
- 構造計画
- 構造力学Ⅲ
- 建築学実験(構造)
- 積算
- 構法・施工
- 建築学実験(材料)

2年次
- 設計製図Ⅰ・インテリアデザイン演習A
- CADⅡ
- インテリアデザイン論
- 建築計画Ⅰ
- 住生活学
- 日本建築史※1
- 環境工学Ⅱ
- 環境工学Ⅰ
- 構造力学Ⅱ
- 構造力学Ⅰ
- 材料学（居住環境）※1
- 建築材料学

1年次
- 建築設計基礎※1
- CADⅠ
- 西洋建築史※1
- 住生活史

※1：学科コアと併記、コース履修推奨科目

環境デザイン学科カリキュラムツリー

環境デザイン学科　プロダクトデザインコース

学科共通コア科目

DP1
与えられた課題や要望に対して調査し、分野を跨いだ幅広い知見に基づき、状況や問題点の抽出、分析を行うことができる。

DP3
他者に対して自らの考えを伝達するためのスキルを修得し、活用することができる。

DP2
自己の能力・特性を生かし、チームの一員として多様な人々と協働できる。

ソーシャル

方法論
- ブランディング戦略
- アートディレクター論
- 地域資産とまちづくり
- アントレプレナー論
- ソーシャルデザイン論
- デザインマネジメント
- マーケティング論
- 居住福祉論
- デザイン計画特講 A,B,C

歴史
- 日本建築史
- 西洋建築史
- 日本服飾史
- 西洋服飾史
- 産業デザイン史
- 東洋美術史
- 西洋美術史

概論
- 服飾デザインマネジメント概論
- 建築学概論
- デザインプロデュース概論
- プロダクトデザイン概論

科学
- 基礎科学（数学）
- 基礎科学（化学）
- 基礎科学（科学）
- 統計学
- データ分析基礎
- ユニバーサルデザイン
- 人間工学
- 環境の科学

コミュニケーション

プロジェクト
- デザイン実務演習 A,B,C
- DP総合演習 A,B,C,D
- 海外デザイン演習

リテラシー
- ベーシックプレゼンテーション
- ワークショップデザイン
- 3DCGデザイン演習
- マルチメディア演習
- CG基礎

パーソナル

素材
- 材料学(居住環境)
- 材料学(繊維)
- 染色加工学
- マテリアルセンス
- 色彩学

表現基礎
- 建築設計基礎
- 立体基礎
- 造形基礎
- デザインプロデュース基礎
- デッサン
- デザイン基礎

思考
- 発想とイメージ
- センスメイキング論
- 美学
- デザイン構想論

コース専門科目

DP5
・発想を形にする表現力を身に付け、生活環境を彩るプロダクトを創造することができる。

プロダクトデザイン領域

- 卒業研究
- 卒業研究関連演習科目
  プロダクトデザイン演習ⅢA,プロダクトデザイン演習ⅢB,プロダクトデザイン演習ⅢC,プロダクトデザイン演習ⅢD
- プロダクトデザイン演習ⅡA
- プロダクトデザイン演習ⅡB
- プロダクトデザイン論Ⅱ
- プロダクトデザイン演習ⅠA
- プロダクトデザイン演習ⅠB
- プロダクトデザイン論Ⅰ
- デザインの考察
- CGⅡ(3D)
- 立体基礎※1
- 基礎表現
- 図学

ビジュアルデザイン領域

- 卒業研究
- 卒業研究関連演習科目
  プロダクトデザイン演習ⅢA,プロダクトデザイン演習ⅢB,プロダクトデザイン演習ⅢC,プロダクトデザイン演習ⅢD
- プロダクトデザイン演習ⅡA
- プロダクトデザイン演習ⅡB
- グラフィックデザイン論Ⅱ
- プロダクトデザイン演習ⅠA
- プロダクトデザイン演習ⅠB
- 発想とイメージ※1
- デザインエレメント
- CGⅡ(DTP)
- グラフィックデザイン論Ⅰ
- CG基礎※1

知識・技術

- 卒業研究
- 卒業研究関連演習科目
  プロダクトデザイン演習ⅢA,プロダクトデザイン演習ⅢB,プロダクトデザイン演習ⅢC,プロダクトデザイン演習ⅢD
- プロダクトデザイン演習ⅡA
- プロダクトデザイン演習ⅡB
- プロダクトデザインマネジメントB
- プロダクトデザインマネジメントA
- プロダクトデザイン演習ⅠA
- プロダクトデザイン演習ⅠB
- デザイン画描法Ⅱ
- デザイン画描法Ⅰ
- スタイリング
- 平面構成と立体構成
- 産業デザイン史※1
- 人間工学※1
- ヒューマンセンタードデザイン
- マテリアルセンス※1
- プロダクトデザイン概論※1

研究

- 卒業研究
- 卒業研究関連演習科目
  プロダクトデザイン演習ⅢA,プロダクトデザイン演習ⅢB,プロダクトデザイン演習ⅢC,プロダクトデザイン演習ⅢD
- プロダクトデザイン研究B
- プロダクトデザイン演習ⅡA
- プロダクトデザイン演習ⅡB
- プロダクトデザイン研究A

PD

応用 ↑ 基礎

4年次 / 3年次 / 2年次 / 1年次

※1：学科コアと併記、コース履修推奨科目

環境デザイン学科カリキュラムツリー

環境デザイン学科　ファッションデザインマネジメントコース

学科共通コア科目

DP1
与えられた課題や要望に対して調査し、分野を跨いだ幅広い知見に基づき、状況や問題点の抽出、分析を行うことができる。

DP3
他者に対して自らの考えを伝達するためのスキルを修得し、活用することができる。

DP2
自己の能力・特性を生かし、チームの一員として多様な人々と協働できる。

応用 ▲ 基礎

ソーシャル

方法論
- ブランディング戦略
- アートディレクター論
- 地域資産とまちづくり
- アントレプレナー論
- ソーシャルデザイン論
- デザインマネジメント
- マーケティング論
- 居住福祉論
- デザイン計画特講 A,B,C

歴史
- 日本建築史
- 西洋建築史
- 日本服飾史
- 西洋服飾史
- 産業デザイン史
- 東洋美術史
- 西洋美術史

概論
- 服飾デザインマネジメント概論
- 建築学概論
- デザインプロデュース概論
- プロダクトデザイン概論

科学
- 基礎科学（数学）
- 基礎科学（化学）
- 基礎科学（科学）
- 統計学
- データ分析基礎
- ユニバーサルデザイン
- 人間工学
- 環境の科学

コミュニケーション

プロジェクト
- デザイン実務演習 A,B,C
- DP総合演習 A,B,C,D
- 海外デザイン演習

リテラシー
- ベーシックプレゼンテーション
- ワークショップデザイン
- 3DCGデザイン演習
- マルチメディア演習
- CG基礎

パーソナル

素材
- 材料学(居住環境)
- 材料学(繊維)
- 染色加工学
- マテリアルセンス
- 色彩学

表現基礎
- 建築設計基礎
- 立体基礎
- 造形基礎
- デザインプロデュース基礎
- デッサン
- デザイン基礎

思考
- 発想とイメージ
- センスメイキング論
- 美学
- デザイン構想論

コース専門科目

DP6
・アパレル業界の潮流を読み取り、科学的・デザイン的アプローチによりファッションを提案することができる。

FD

科学・文化

卒業研究
卒業研究関連科目
繊維材料学演習,被服造形科学演習,モードデザイン演習,染色・整理学演習

- 服飾研究基礎

ファッションDM総合演習 Ⅱ
- 服飾系研究基礎 Ⅱ
- 服飾系研究基礎 Ⅰ
- テキスタイルサイエンス
- 装いの文化

ファッションDM総合演習 Ⅰ
- ベーシックプレゼンテーション※1
- 統計学※1
- テキスタイル材料学
- アパレル造形論
- 装いの科学
- データ分析基礎※1
- 日本服飾史※1
- 素材と製品の科学

造形基礎※1
- 材料学(繊維)※1
- 西洋服飾史※1
- 服飾デザインマネジメント概論※1
- 基礎科学(化学)※1

ビジネスと社会

- 消費科学

ファッションDM総合演習 Ⅱ
- 服装社会学
- マーケティング論※1
- アントレプレナー論※1
- ファッションビジネスマネジメント

ファッションDM総合演習 Ⅰ
- 装いの心理
- ソーシャルデザイン論※1
- デザイン計画特講※1

造形基礎※1
- 現代ファッション論

スキル

ファッションDM総合演習 Ⅰ
- ファッションコンピュータ演習
- クラフト基礎演習2
- テキスタイル基礎演習2
- モード基礎演習2
- アパレルCG＆プレゼンテーション
- クラフト基礎演習1
- テキスタイル基礎演習1
- モード基礎演習1
- 発想とイメージ※1

造形基礎※1
- クリエイティブデザイン演習
- デザイン基礎※1

企画

- ファッションデザイン演習 Ⅱ2
- ファッションデザイン演習 Ⅱ1

ファッションDM総合演習 Ⅱ
- ファッションプランニング演習
- アパレル事例研究
- ファッションデザイン演習 Ⅰ2
- ファッションデザイン演習 Ⅰ1　テキスタイル
- ファッションデザイン演習 Ⅰ1　モード
- ファッションデザイン

ファッションDM総合演習 Ⅰ
- アパレル企画論
- ブランディング戦略※1

4年次
3年次
2年次
1年次

※1：学科コアと併記、コース履修推奨科目

環境デザイン学科カリキュラムツリー

環境デザイン学科　デザインプロデュースコース

学科共通コア科目

DP1	DP3	DP2
与えられた課題や要望に対して調査し、分野を跨いだ幅広い知見に基づき、状況や問題点の抽出、分析を行うことができる。	他者に対して自らの考えを伝達するためのスキルを修得し、活用することができる。	自己の能力・特性を生かし、チームの一員として多様な人々と協働できる。

ソーシャル

- 方法論
  - ブランディング戦略
  - アートディレクター論
  - 地域資産とまちづくり
  - アントレプレナー論
  - ソーシャルデザイン論
  - デザインマネジメント
  - マーケティング論
  - 居住福祉論
  - デザイン計画特講 A,B,C
- 歴史
  - 日本建築史
  - 西洋建築史
  - 日本服飾史
  - 西洋服飾史
  - 産業デザイン史
  - 東洋美術史
  - 西洋美術史
- 概論
  - 服飾デザインマネジメント概論
  - 建築学概論
  - デザインプロデュース概論
  - プロダクトデザイン概論
- 科学
  - 基礎科学（数学）
  - 基礎科学（化学）
  - 基礎科学（科学）
  - 統計学
  - データ分析基礎
  - ユニバーサルデザイン
  - 人間工学
  - 環境の科学

コミュニケーション

- プロジェクト
  - デザイン実務演習 A,B,C
  - DP総合演習 A,B,C,D
  - 海外デザイン演習
- リテラシー
  - ベーシックプレゼンテーション
  - ワークショップデザイン
  - 3DCGデザイン演習
  - マルチメディア演習
  - CG基礎

パーソナル

- 素材
  - 材料学(居住環境)
  - 材料学(繊維)
  - 染色加工学
  - マテリアルセンス
  - 色彩学
- 表現基礎
  - 建築設計基礎
  - 立体基礎
  - 造形基礎
  - デザインプロデュース基礎
  - デッサン
  - デザイン基礎
- 思考
  - 発想とイメージ
  - センスメイキング論
  - 美学
  - デザイン構想論

応用 ↑ 基礎

コース専門科目

DP7

・企画力、発想力、構想力、調査・分析力、表現力、組織力に基づき、デザインの企画立案を行うことができる。

学科コア連動	計画技術	ICTスキル	Project Based Learning
			卒業研究
			卒業研究関連科目 デザイン構想演習,デザインプロデュース演習,都市地域プロデュース演習 デザインサイエンス演習,デザインプロセス演習,地域空間プロデュース演習
			DP総合演習(social Marketing)※1
			デザイン企画演習 Ⅱ
アントレプレナー論※1	デザイン企画Ⅱ2	エディトリアルデザイン	DP総合演習(企業プロジェクト)※1
ワークショップデザイン※1	デザイン企画Ⅱ1	コンピューターグラフィクス	
	デザインサイエンス	映像デザイン演習Ⅱ	
	デザイン構想論※1		
			デザイン企画演習 Ⅰ
ソーシャルデザイン論※1	デザイン企画Ⅰ2	映像デザイン演習Ⅰ	DP総合演習(リサーチプロジェクト)※1
プロデューサー論※1	デザイン企画Ⅰ1	デザインキュレーション	
地域資産とまちづくり※1	アートディレクター論	ネットサービスプロデュース	
マルチメディア演習※1		コンピューターグラフィクス	
			デザインプロデュース基礎※1
デザインプロデュース概論※1			DP総合演習(イベント)※1
センスメイキング論※1			
CG基礎※1			

DP

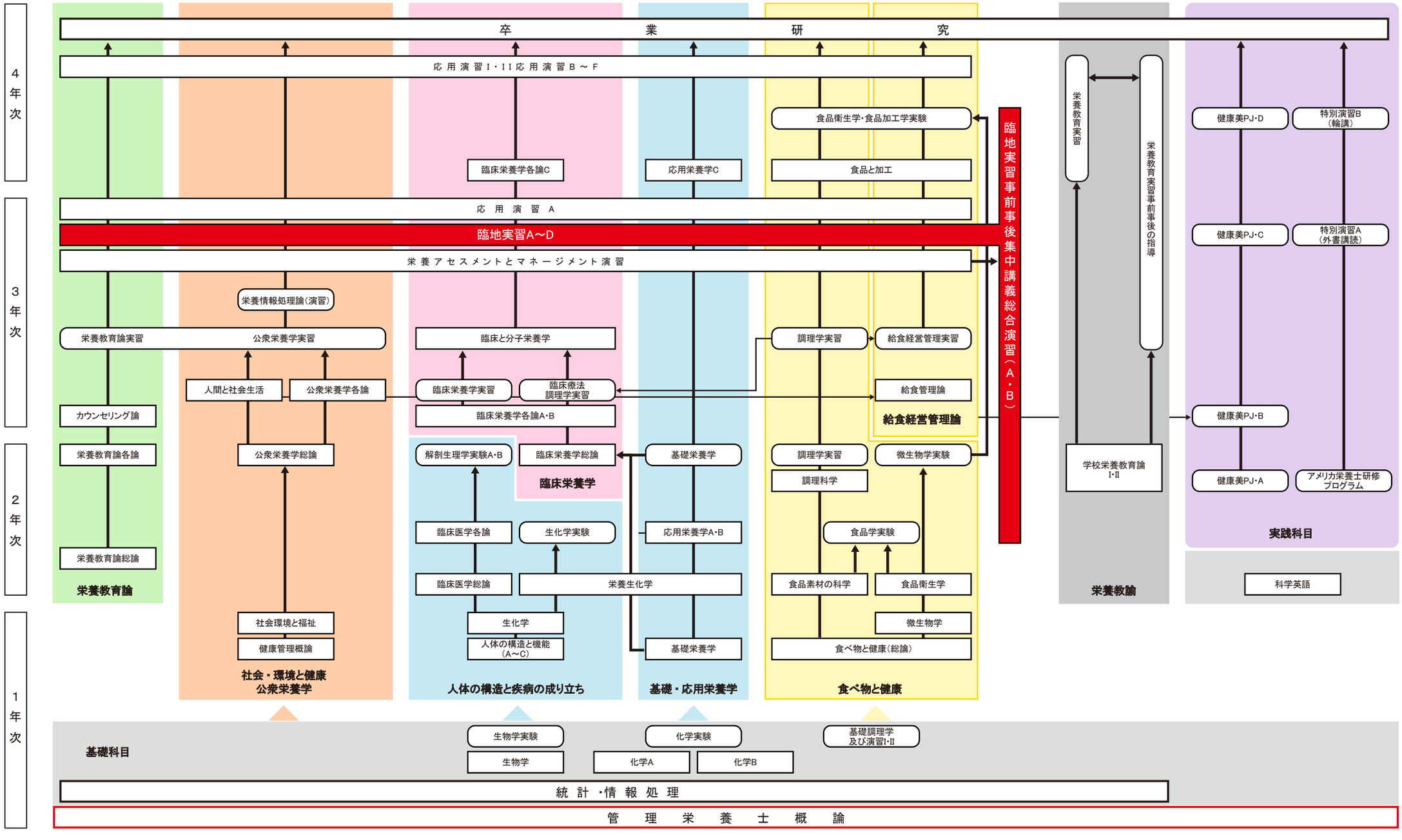
4年次 / 3年次 / 2年次 / 1年次

※1：学科コアと併記、コース履修推奨科目

管理栄養学科　カリキュラムツリー

講義・演習　実験・実習

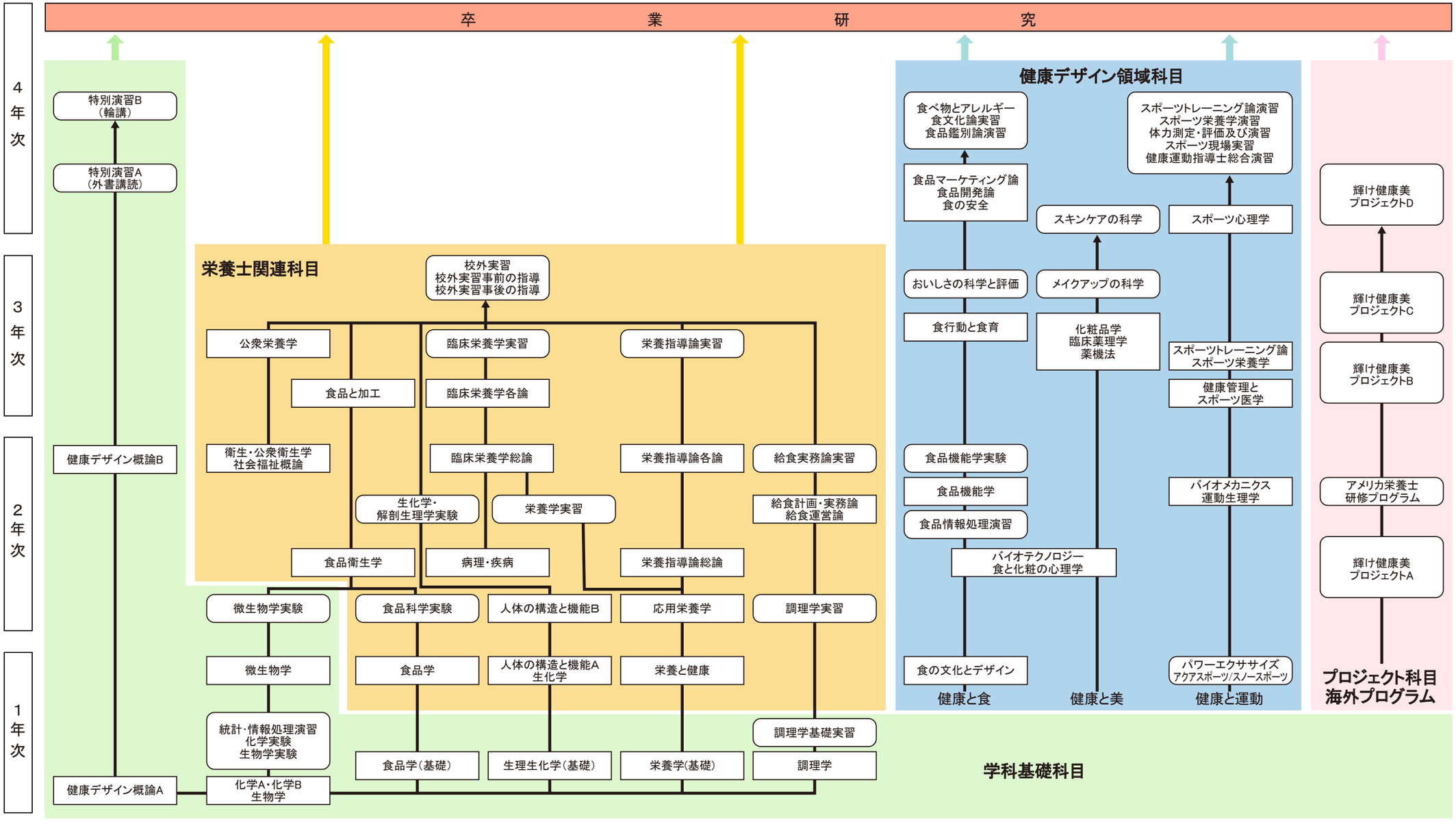
［知識・技能］		［自主・自律］	［協働・調和］
DP.1 専門職として十分な知識と技能を有し、管理栄養士国家試験に合格できる能力を持つことがで	DP.2 個人または集団のより良い健康状態の実現を目的として、社会的な役割を果たすことができる。	DP.3 社会に関する問題意識を持ち、自らが発見し、認識する。問題解決のための立案、目標設定、実施、評価、改善に多角的に取り組むことができる。	DP.4 専門職として適切な態度、 道徳やコミュニケーション能力を備え、 真摯な姿勢を有し、 チームの一員として多様な人々と協働することができる

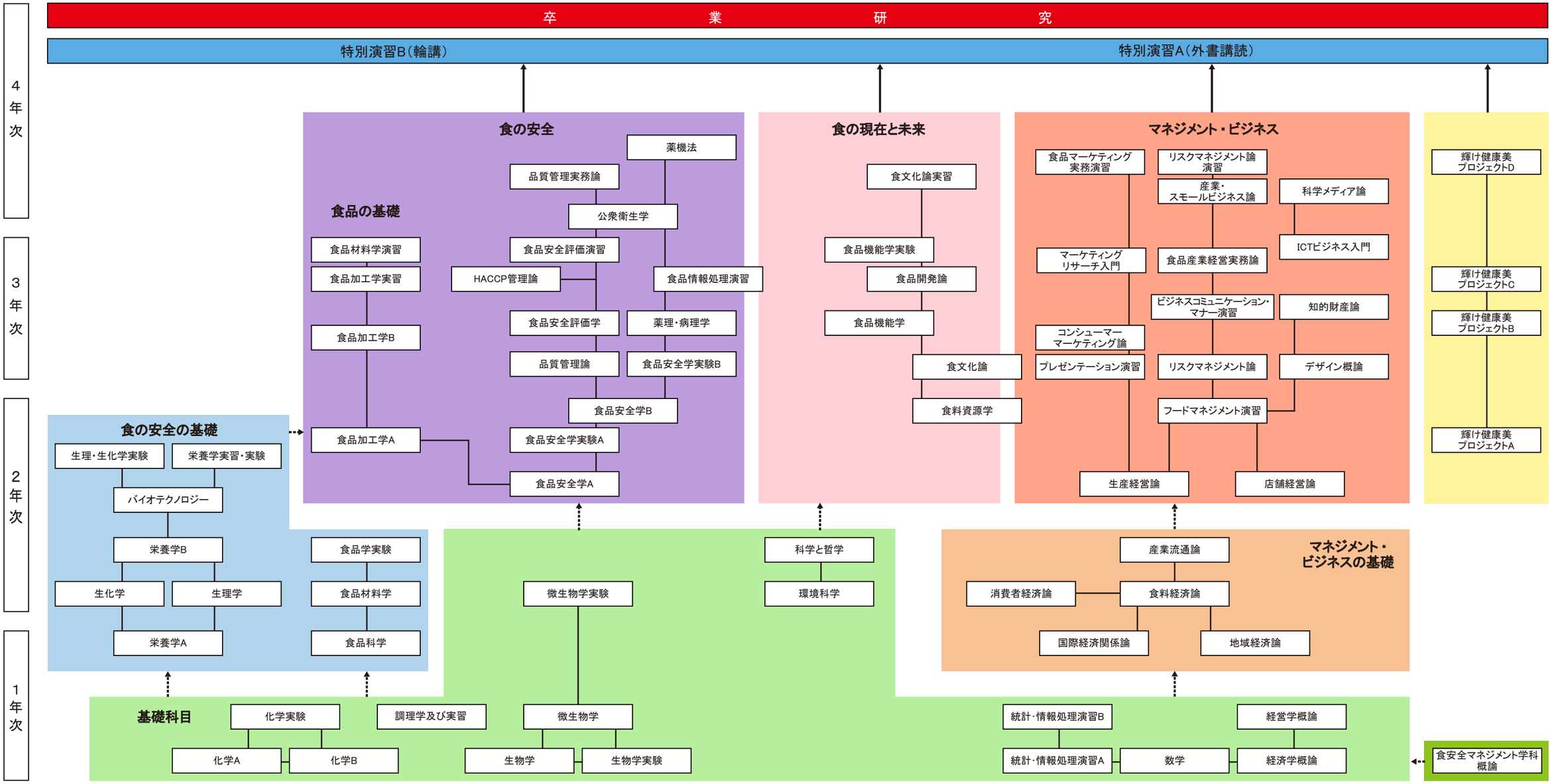


健康デザイン学科カリキュラムツリー

基礎科目（専門関連科目）　栄養士必修科目　健康デザイン領域科目　実践的科目　　講義　演習・実験・実習

［知識・技能］			［自主・自律］			［協働・調和］	
DP.1 健康と栄養を中心に、関連する食・美・運動などの周辺領域も含めた多様な専門知識を体系的に理解し、科学的知識に基づく実践的技能を修得し、活用できる。	DP.2 修得した健康に関する多様な知識と実践的技能を活かして、グローバル化が進展する現代社会において人々の健康増進と生活の質の向上に貢献できる。	DP.3 栄養士として必要な専門知識と実践的技能を修得し、活用できる。	DP.4 自ら健康や栄養に関連する課題を発見し、情報を収集して解決に向けた働きかけをすることができる。	DP.5 自ら新しい知識や技能の修得に努め、設定した目標を達成することができる。	DP.6 専門知識・技能を有する人としてふさわしい倫理観に基づいて行動できる。	DP.7 社会の一員として社会規範やルールに基づいて行動できる。	DP.8 専門知識・技能を有する人として、真摯な姿勢で多様な技能を持つ人々と協働できる。



食安全マネジメント学科　カリキュラムツリー

［知識・技能］		［自主・自律］		［協働・調和］
DP.1 食品と栄養、マネジメントに関する専門知識と技能を身につけ、その力を応用できる。	DP.2 社会において、食の安全を確保し、マネジメントしていくための積極的な提案ができる。	DP.3 食品と栄養、マネジメントの分野において自ら課題を発見し、目標を設定できる。	DP.4 目標に向かって多角的に考え、常に新しい知識や技術の修得に努め、やり遂げることができる。	DP.5 専門的知識・技能を有する人としての態度、道徳やコミュニケーション力を身に付け、真摯な姿勢をもって、多様な人々と協働できる。